

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 3月 9日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200627		
法人名	株式会社 ひょうま		
事業所名	グループホーム ひなたぼっこ・八木		
所在地	〒731-0101 広島県広島市安佐南区八木一丁目10番10号 (電話) ① (082) 830-2588 ② (082) 830-2117		
自己評価作成日	平成29年10月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200627-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年3月7日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気の中で入居者それぞれの個性を大切に、運営理念である「安らぎとよろこびのある日々を、その人らしくいつまでも」を基本として思いやりのある温かいサービスを提供している。また、一人ひとりの意思や能力、人生人格を尊重。入居者の思いに寄り添い、柔軟に対応できるように体制を整え散歩や買物など外出の機会を多く設けている。職員が楽しく働ける職場作りも行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

季節を味わう外出行事や温かみのある手作りでの食事提供に加え、定期的な保育園児との交流など地域に根差した様々な関わりを大切に支援に取り組んでいる。すぐ傍には川べりの公園や、保育園などがあり日常的な散歩やふれあいの場に恵まれている。とりわけ本年度は、中学校の合唱祭を初めて鑑賞し感動の時を共にすごせた事など、親密な交流を図ることが出来て職員共々励みにつながった。毎月の家族への便りには利用者の日々の様子や営みを綴り届ける工夫を続け、良好な関係性の構築に努めている。個々の思いに寄り添った穏やかな暮らしを育み、生活の活性化を図りながらチームケアの向上を目指し職場環境整備に注力している事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	事業所独自の理念を掲げ、出勤時に復唱し、それに沿ったケアができるように努めている。今後その理念について、達成できているかどうか職員間で評価を行い、見直しを行っていく。	事業所理念を玄関に掲げ職員間で共有し、日々のケアの中で念頭に置きながら実践につなげるよう意識統一を図っている。個々に寄り添ったケアなどの年間目標を定め、職員会議で心構えの見直しに努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の保育園の運動会見学、町内会行事・中学校行事に参加、就労支援を行っている事業所との交流、ボランティアの慰問などあり。また買い物や散歩時に挨拶等行い、交流が増えている。	町内清掃などへの参加をはじめ、実習生の受け入れ、中学校の合唱祭鑑賞や近隣の保育園児との定期的な交流など、世代を超えた関わりを深めている。日常的にも近くの公園へ散歩に出かけた際、近所の人達と挨拶を交わし親しくなるなど、自然なふれあいを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症サポーター養成講座を行うなどしている。また、いつでも見学や相談に応じられる体制を整えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議を通して、取り組みなどの報告や話し合いを行い、出席者(入居者・家族や他事業所の方など)の意見などを基に外出レクに活かしたりサービスの向上・実践につながるよう努めている。また災害時の対応も話し合い、活かしている。	隔月開催の当会議には、利用者・地域代表者ほかの参加を得て、近況報告・行事報告及び意見交換が行われている。出来る限り家族や多方面からの参加を促し、幅広い見解や意見を得る機会としてサービスの質や意識の向上に活かせるような取り組みを検討している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括支援センターなどとできるだけホームの状況など伝えられるよう、連携を取るようにしている。	日頃から手続きや相談などで連携し、地域包括支援センター他から研修や地域情報を得つつ関わりを継続している。職員が認知症アドバイザーとして地域で交流を重ね、オレンジプランに関する協力関係を築くように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	職員会議での勉強会や内部・外部研修などで具体的な行為を含め、身体拘束防止について理解し、職員間で共通意識を持ち正しい対応に取り組んでいる。	法人内・外研修はもとより、身体拘束をしないケアについて職員会議などで話し合い、ケース検討を行いながら職員間で啓発を促している。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	職員会議での勉強会や内部・外部研修に参加し、常に意識し細心の注意・防止に努めている。また、職員のストレス解消にも努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	内部・外部研修にて学ぶ機会あり。職員会議などで必要性について話し合うことあり、早めの対応ができるように努めている。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	不安などを聞き、十分な説明を行い、理解・納得していただけるようにしている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	運営推進会議の参加を募ったり、来所時や電話にて定期的に意見などを聞けるよう努め、反映させている。また、入居者の意見を聞く機会も設けている。	年一回の家族会やイベント時・面会時に要望や意向を伺い、関係性の構築に努めている。訪れやすい雰囲気づくりや相談しやすい環境づくりに努め、利用者・家族の思いに寄り添ったサービスの向上を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送りや職員会議、また普段から時間のある時に職員から話を聞く機会を持ち、反映させている。	職員会議などで話し合い、提案や意見を聞き職員間のスムーズなコミュニケーションに努め、アイデア他を取り入れより良い運営に活かせるよう取り組んでいる。勉強会や交換研修を通じ、事業所間で円滑な交流や情報交換に努めスキルアップを図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	面談や時間のある時に、職員一人ひとりの意見を聞く機会を設けている。それぞれに役割をつける、また、資格取得に向けた支援や、目的意識を持てるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員それぞれの今必要なことを把握し、指導するようしたり、内部・外部研修に参加できるよう勤務体制を整えられるように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所との職員間研修や勉強会などで、交流や意見交換などの機会を作ったり、運営推進会議にお互いが参加できるようにしている。また、地域の地域密着型の事業所が集まる機会もある。それによってサービスの見直しの機会を得るようにしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	面談や事前の体験入居を行うことにより、本人の希望や心配事など考慮しながら、信頼関係を築けるようコミュニケーションを図り、関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の希望や不安などを十分な時間を取りいつでも話せる機会を設け、信頼関係を築けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人と家族の必要としている部分をできるだけ見極め対応している。必要時には他のサービス利用も検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>役割などを持ってもらい、生きがいを感じていただくよう努めている。普段から入居者に教えていただくことも多く、感謝の言葉を忘れないようにしている。また、本人の特徴を活かしながら、関係を作れるように心がけている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時や電話にて家族との情報交換、また相談など、できるだけコミュニケーションを図り、関係を築けるよう努めている。また、外出や面会をお願いすることもある。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ドライブなどで自宅の近くに行ったり、友人との電話の支援など関係が途切れないよう努めている。</p>	<p>これまで大切にしてきた関係性を継続し、昔ながらの友人と旧交を温めたり、思い出をたどる工夫や懐かしい場所に出かける機会を設け共感できる場面づくりに努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>入居者同士の人間関係に配慮し、孤立しないよう、席の配置や、食事作り・作品作り、外出などレクを通じて支援に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>病院のお見舞いや、施設への面会、家族が来所・電話などの関わりがある。また、いつでも相談に応じれる体制をとるようにしている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>普段の会話の中や様子などから一人ひとりの変化に気づき、本人の希望や意見にできるだけ沿えるようにしている。困難な方は、家族に相談するなどし対応している。</p>	<p>日々の流れ中で、さりげない会話やふれあいを通し、気付きや変化を日常生活メモなどに記し思いを汲み取っている。家族からの聞き取り・個人ファイルにまとめたバックグラウンドなども加味しながらアセスメントにつなげ個別ケアに活かしている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>本人や家族に今までの生活歴など伺い、個人ファイル等に記録を残し確認するなど状況を把握できるように努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>入居者一人ひとりのできることを見極め、できることをしてもらうよう努めている。また、それぞれの状態・状況を常に意識し、記録の確認や把握に努め対応するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>普段の業務や毎月の職員会議、また本人の希望、家族との相談、関係者の意見を基に作成を行っている。</p>	<p>スタッフによる日々の記録や本人・家族・医療関係者の意見をもとに、ニーズに合わせたプランづくりに取り組んでいる。個々の役割や生きがいなどの要素を組み込み、定期的に見直しを行い現状に即した介護計画となるよう取り組んでいる。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>入居者の方毎の個別記録に、気づきや本人の主張などを記入し、職員間で共有している。また、それに基づき意見交換や、対応、介護計画の見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>個別に買い物や散歩に行ったり、家族に電話をしたりとその時の状況に応じて対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣のグループホームや保育園との交流、ボランティアの協力依頼、また、町内会・民生委員の方等と協働できるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診時や往診時、また必要時に相談をしたり、指導を受けられるようにしている。</p>	<p>月二回の訪問看護や、定期的な内科・歯科の訪問診療により健康管理を図っている。必要に応じ通院同行支援も職員が行い、受診結果などの情報は家族と共有している。緊急時にも協力医ほかと連携し、スムーズな医療処置が施せる体制が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日頃から訪問看護師や、かかりつけ医の看護師に相談するように努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院前・入院中に相談員や医療関係者、家族などと密に連携を取り、情報交換や相談を行うようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化した場合を想定し、家族に契約時や早い段階から話し合いを行っている。その意見をもとに主治医や看護師、職員と今後の対応について決定するようにしている。</p>	<p>法人として看取りは行わない方針で、重度化した場合はその都度、家族ほかとよく話し合い、方向性について相談しチームケアを整えている。医療関係者との連携やバックアップ体制の充実を図っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時マニュアルあり。対応の仕方を学ぶ機会を内部・外部研修などで設けている。また、普段より事故の想定をするなど実践力につながる指導を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回以上主に夜間想定での避難訓練を実施し、そのうち1回は消防署より指導を受け、地域の方にも出席してもらうようにしている。また、地域との協力体制も整えている。火災以外の災害訓練の必要性あり。</p>	<p>地域住民も参加する防災避難訓練や、夜間想定での避難訓練を定期的の実施し、災害時対策を整えている。備蓄や防災機器の点検など非常時に備え、地域ぐるみで防災意識を高めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊厳を保ち、プライバシーを配慮した声かけや一人ひとりに合った言葉遣い、対応などを心がけて行っている。	日頃から利用者を人生の先輩として敬い、人格や尊厳を損なわないケアの実践に取り組んでいる。申し送りは見守りを兼ねフロアで行うため、氏名を伏せ部屋番号で個別ケアの伝達を行うなどプライバシー保護に努めている。声掛けや節度を保った接遇に留意し、信頼し合える関係性の構築に心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	一人ひとりの状態や能力に応じ、できるだけ自己決定の支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	できる限り本人の希望に応じて、一人ひとりのペースで過ごせるよう、買い物や散歩・ドライブなど支援を行うようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	散髪や髪染め、服選びを本人の希望に合わせて行っている。また、化粧品を使用される方の支援も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を入居者と一緒に考えることもあり、買い物や調理、盛り付け、片付けなど一緒に行っている。季節行事や誕生日会では工夫を凝らした料理を出すようにしている。また、外食や出前の機会もある。	三食共、職員による手作りで栄養バランスに配慮し提供している。役割分担や楽しみ事として、一緒に調理の下ごしらえ等を行い生活活動の活性化を図っている。誕生日には好みのメニューやバースデーケーキで祝い、時には出前を取ったり外食に出かけるなど気分を変えて食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養を考えしっかり摂取できるよう献立を決めている。また、適宜水分が摂れるようこまめに提供するなどで支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアの声かけ・介助を行い、入れ歯の洗浄も実施している。また、必要に応じて訪問歯科にて口腔ケアや指導も受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>本人の状態や状況に応じて排泄パターンを把握し、トイレの声かけ、誘導、交換を定期的に行っている。</p>	<p>個々のパターンやタイミングを見計らい、トイレ誘導を行っている。日中は、ほとんどリハビリパンツにパッド対応で、生活活動の工夫により筋力の低下を防いだり、バイタルチェックで水分補給や体調管理に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防のため、水分や乳製品、繊維質の摂取を献立に取り入れ、運動や腹部マッサージも実施している。便秘気味の方は服薬などで調整している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一番に入浴したくないなど、入居者の希望を聞き、可能な限り対応できるようにしている。</p>	<p>概ね週二～三回の入浴で、その日の体調に合わせた柔軟な対応をしている。肌荒れ防止のため固形石鹸を使用し、足浴・シャワー浴なども行いリラックスできるように工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>寝具を清潔にしたり、居室の環境整備、室温管理を行っている。また、日中の活動量を増やすなどの工夫をしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬ファイルあり、普段から確認を行い、変更があった場合などにも確認を行っている。状態も常に把握し、不明な点などあれば主治医や薬剤師に相談、また指導を受けるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>食事作りや花の世話、掃除や作品作りなどそれぞれの得意分野を見つけ、役割を持って行えるよう支援している。個別ケアを中心にレクや外出などで気分転換も図っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>できるだけ本人の希望に応じ、買物や散歩、ドライブ等と出かけるようにしている。また、入居者の状況に合わせて、家族の協力の下に行っている。</p>	<p>外気に触れる機会づくりに努め、散歩や買い物に出かけたりドライブなどでも気分転換を図っている。季節を味わう紅葉狩り・護国神社への初詣・温泉施設での観劇などレクリエーションも兼ねた外出行事に努め、共に楽しむ機会を設けている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>欲しいものや必要な物などを、希望時や買物時などに買えるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望に合わせて電話をしたり、また定期的に手紙を出すなどの支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>温度調整や清掃など細かく行っている。また、季節感のある飾り付けや、展示物など入居者と一緒に工夫を行い、居心地のいい空間を作っている。</p>	<p>毎日の掃除や換気に努め、気持ちよく過ごせるように心がけている。明るいうりビングには季節の飾りものや手作り作品を掲げ、ゆったり寛げるスペースとなっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>自室にて一人の時間を過ごされたり、気のあった入居者同士が穏やかに過ごせるよう、テーブル・席の配置の工夫をしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>今までの環境とあまり変わらないよう、慣れ親しんだ家具など持参してもらっている。また、本人好みの飾り付けや置物などで工夫されており、居心地のいい自室になっている。</p>	<p>馴染みの家具や調度品を持ち込み、家庭に居るような環境づくりに留意している。一人ひとりの個性を大切に、お気に入りの品々や思い出の写真などを飾り落ち着いて過ごせるように配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>椅子など入居者の状態に合わせており、手すりもつけ安全に配慮している。また、各居室に表札をつけたり、トイレなどの表示をし対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	施設理念として、「安らぎとよこびのある日々をその人らしくいつまでも」を掲げ、その実現に向け、利用者様ならびに家族様のご希望に出来る限り沿ったサービスを提供できるよう職員と共有し業務にあたっている。地域交流として近隣の保育園との係わり合いを持ち交流を行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	交流の深い保育園が行う運動会の見学に招待していただいたり、月に1回訪問してもらい交流会を開けている。ホームで花火をしたときには、お隣の家族の参加もあり近隣との交流も行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議に、町内会の方や地域の保育園の先生、地域包括の方々に毎回参加いただくことで、利用者様、家族様との交流の場を設けることが出来ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月おきに運営推進会議を行い、利用者様の現状や実施したイベントの報告、説明を行っている。その際には地域包括支援センターの職員、保育園、町内会の方々に出席いただき施設運営の理解を深めて頂いている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	安佐南区生活課の担当者の方などと、随時連携をとり、サービスの向上を目指している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	虐待・身体拘束のマニュアルも作成している。内部研修や外部研修に職員が参加してその内容をカンファレンス時で発表する事で、職員の共通認識へとつなげている。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	虐待や人権擁護についての内部研修や外部研修に参加する事で、職員が理解を深めている。その内容についてもカンファレンスで発表を行うことで、研修に参加していない職員にも共通認識できる機会を設けている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会がない為、今後研修への参加などが課題となっている。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	入居前には、必ず個別訪問を行い、家族様・利用者様と話し合いの場を設けている。入居が決定した際には、契約書、重要事項説明書を基本とし、理解、納得をして頂けるよう説明を行っている。法改定で料金の変更時には、必ず説明を行いサインを頂くようにしている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	家族様が来訪された際や電話連絡の際に意見を聞きだして、可能な限り希望に沿ったサービスを提供するよう努めている。その他、年に1回実施する「家族会」では、職員と家族様の交流の場を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月カンファレンスを開き、職員間の意見交換、サービスの統一・向上を図っている。職員会議は職員が意見しやすい空気作りに努め、日々の業務内容等は利用者様の思いやペースを出来るだけ酌めるよう配慮した意見がでている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者が職員から、就労するにあたり不安や悩みを聞く機会を作り、出来る限りその解消に努めている。都度、管理者は上司に報告を行い、会社として環境を整えるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	ひなたぼっこ全体で行う社内研修を毎回違うタイトルで行っており、職員はその研修に参加できるような体制を取れている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	運営推進会議へ他の事業所の管理者クラスに出席してもらい意見交換を行う機会が取れている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時には、あらかじめ家族様や介護支援専門員・相談員より本人様の情報を集め、職員が利用者様の情報を共有できるようカンファレンス等で説明を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	施設見学や面接時に、利用者様・家族の思いを聞き、あらかじめサービスの内容に反映させている。施設の説明をしっかりと行い、理解して頂いた上で、出来る限りの不安を取り除き、要望等に対応できるよう努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	入居前には、介護支援専門員や家族様（キーパーソン）としっかりと話し合い、本人様のニーズに合せたアセスメントを行い、職員が情報を共有できるようカンファレンスでの話し合いを行っている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	職員には、利用者様の状態や心理状態を考慮した対応を行えるよう指導し、自尊心を傷つけないように心がけている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	家族様との関係については、入居時に説明を行っているほか、ケアプランの中にも、「家族様との関係の維持」という項目をいれて、その都度、ケアプランの説明時には必ず「家族様の信頼関係の必要性」について説明を行っている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	年末には外泊され、住み慣れた自宅で家族様と過ごされる事がある。その他、家族様と一緒に外食や買い物の為、外出されるケースもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>定期的にダイルームの配席の見直しを行い、同じ趣味を持った方やお話の合う方を同じテーブルにしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>家族様に連絡をいれ、退去後の生活状況を伺い、相談事があれば、話を聞き入れサポートを行うようにしている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>利用者様との時間を大切にし、出来るだけ会話をすることにより個々の思いや希望を取り入れるよう努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入居前に、本人・家族様と面談を行い生活歴や生活環境の情報を収集している。その他、担当の介護支援専門員や相談員より情報を入手するなど行っている。日々のケアの中でも情報が得られるようコミュニケーションを行っている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>毎月のケアカンファレンス時に、管理者・職員間と話し合い、利用者様一人ひとりの検討を行い、サービスの向上・統一に努めている。リスクなど考慮しながら、利用者の身体レベルの現状維持を考えて出来ることを探して実行している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者様、家族様、関係者様の意見を出来る限り取り入れるよう、日々職員が利用者様から思いを聞き出すことに努めており、毎月のケアカンファレンス時に、管理者や介護職員が話し合いを行い計画を作成するようにしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>カンファレンス前には、職員一人ひとりが話し合いの議題を提出しそれを基に会議を実施する為、ケアの実践や結果などが統一でき反映できるようにしている。その他、職員用の連絡ノートを使いケアの実践、統一を図っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>認知症の進行、変化に応じて、利用者様のニーズに合わせてサービスを行うように心がけている。気分のリフレッシュや足腰の筋力維持の為、公園まで散歩に出かけている。参加ができない方などは、毎日職員が付き添い廊下での歩行練習を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティアの方を招いて劇やマジック、音楽演奏をして頂いている。秋にある保育園の運動会には毎年、来賓として参加させていただいている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間毎に、協力医の先生に往診して頂いている。事前に利用者様の状態、ニーズを報告し、お薬の調整をもらっている。血液検査やレントゲンも定期的に行っている。体調不良時には、24時間連絡が取れる体制を設け、いつでも指示がいただけるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	2週間におきに訪問看護の往診があり、利用者様の状態を報告している。利用者様が直接体調について、看護師に相談も行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	退院時の対応として、ホームで生活が続けられるかどうかについては、家族様や本人様の希望を聞き入れたうえで説明を行い、出来るだけ本人のニーズに応えるよう支援を行っている。入院先へは必要に応じて、アセスメントの情報提供をしたり、退院時には情報・アドバイスを受けている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	「重度化した場合の指針」は、入居時に家族様に説明しサインをいただいている。常時、医療行為が必要な場合は、ホーム内の対応は難しい為、協力医に相談し入院先の手配、援助を行えるようにしている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	利用者の急変に備え、マニュアルを作成している。新しい職員にはマニュアルを使用し教育も行っている。内部研修で救命講習を実施し、職員全てが資格取得している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	ホーム内で年二回、夜間想定避難訓練を実施している。その際に実際に「火災通報専用電話機」を使用した訓練も行っている。その他、近年の土砂災害をうけ災害マニュアルを作成し職員に周知をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	カンファレンスで職員全員で「出来る事やりたい事をして頂く事で、その人らしい生き生きとした生活を送って頂けるよう支援する」という目標を作成しそれに向けたケアを行うように日々心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食事に関してはあえてメニュー表を作らず、利用者様の希望の食事を取り入れることができるようにしている。レクでは、カラオケや菊花展など、利用者様の希望に対し出来るだけ個別対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のやりたいこと、出来ることをしっかりと職員が把握し、ご自分のペースで生活をして頂いている。必要に応じて声かけを行うが、習字や貼り絵、編み物、食事作りなど個々の対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月、訪問理容師に来て頂き、カットやカラーをしてもらっている。本人様用の鏡やブラシを誕生日などでプレゼントをしている。家族様に本人様の化粧品の購入を依頼し、身だしなみやおしゃれに支援できるようしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	毎日、食事の盛り付けをしていただいている。旬の野菜を取り入れることで季節を感じていただくよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>利用者様の食事量を毎日記録し、月に一度体重を測定し推移を観察している。糖尿病の為、食事量の制限がある方についても、それぞれ職員が把握し支援を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアの見守り、必要に応じて介助を行い口腔状態の保持・改善を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄については、量、質、形状を確かめ、毎回グラフ化している。その習慣に合わせてケアすることが出来ているので、失禁の回数も軽減できている。夜間については、尿量に合せたパッドの使用やトイレへの誘導を行い、本人様の負担も軽減できている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄チェック表により、利用者様の個々の排泄の習慣を把握し、トイレ誘導を行う様にしている。便秘の方は、医師に相談し、利用者様に合った処方をしてもらい対応をしている。排便を促す為、毎朝ヨーグルトを提供したり、お茶も工夫している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴回数表を作成し、毎日記録することで入浴回数の把握をしている。拒否のある場合などについては、声かけを工夫し気持ちよく入浴して頂いたり、入浴日を変更するなどして対応している。入浴剤を使用する事で変化を出している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる。</p>	<p>利用者様のペースで生活して頂けるよ う、個々の生活パターンの把握に努め ている。夜間の睡眠の妨げにならない 様、声かけを行っている。また、室内 の温度にも気を配り1日の入眠時間を 大切にしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている。</p>	<p>協力医に、隔週で往診に来てもらい、 そのときの、利用者様の状態の変化や 利用者の希望などを報告し、薬の調整 を行っている。全利用者の最新の薬情 をファイルし職員がいつでも閲覧でき るようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせ るように、一人ひとりの生活歴や力 を活かした役割、嗜好品、楽しみご と、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>利用者様の趣向に合わせて、残存機能 を保持できるよう支援する為、日常の 生活で行う、食事や、洗濯物、掃除な ど本人の活躍できることを見つけ、自 信につながるよう生活支援をしてい る。カラオケや買い物、塗り絵など 個々にあったサービスを行う事で楽し んでいただいている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援してい る。</p>	<p>近くに公園もあるので、暖かい日など は数名でお散歩を楽しんだり、車での買 物に付き添って頂いたりしている。食 事やおやつなども外食をして楽しんで 頂いている。お花見や紅葉狩りなどの 行事で、季節を感じていただけるよう 支援している。地域のイベント（公民 館やお祭り）にも参加している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひとりの 希望や力に応じて、お金を所持した り使えるように支援している。</p>	<p>本人様にお金を持っていただくこと をしていないが、本人様の希望に添 って買い物に同伴し、目的のものを 購入して頂いている。（毛糸や化粧品 ・日用品など）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	出来るだけ利用者様の希望する場所への電話の援助を行っている。お孫さんへ手紙を書かれたり、皆さんで残暑見舞いを作成し投函する支援を行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	施設の雰囲気を抑え、極力家庭的な雰囲気を演出し、利用者様が戸惑わないよう配慮を行っている。採光については、自然の光に触れて頂けるよう、採光窓も設置している。壁には季節感を感じていただけるような貼り絵の作品や飾りで演出をしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者様の個々の趣向や話の合うもの同士、生活のペース、身体レベルを職員が把握し、カンファレンス時に話し合い、ダイルームの配席は定期的な見直しを行い、利用者様同士が支えあえる環境作りに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者様が生活しやすいよう、出来るだけ馴染みのある家具を使用して頂き、居室の環境整備に努めている。また、家族様の要望も聞き入れ、利用者が主体的に生活出来るよう配慮を行っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレ内の手すりを増設したり、広さも車椅子のままで中へ入ることが出来る。施設内では壁に手すりを設け、安全に歩行して頂けるような設備を整えることで、自立した生活を営んで頂いている。暖かいお茶がいつでも飲める様ダイルーム内にポットを設置している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひなたぼっこ・八木①

作成日 平成30年3月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の内容がいつも同じで単調になっている	勉強会など入れ込めるように毎回テーマを変えていくように努める	事業所内での話し合いや、出席者などにも意見をもらい進めていく	6ヶ月
2	13	職員の入れ替わりなどで年2回の災害訓練だけでは、全員周知できていない	職員全員が災害時の対応ができるようになる	訓練や勉強会の時間を設ける	6ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひなたぼっこ・八木②

作成日 平成30年3月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者・家族が運営に関する意見を管理者・職員又は外部へ表せる機会を設ける	運営について意見を出しやすいよう利用者・家族に運営推進会議へ参加していただけるように働きかける	家族様へ運営推進会議への参加の呼びかけを行う（電話・はがきなど）	2ヶ月毎
2	6	全ての職員が身体拘束についての理解をより深めれる環境を整える	全ての職員が身体拘束について、考える時間を出来るだけ増やす	職員会議の中で短時間でも、身体拘束についての講習・話し合いの時間を設ける	毎月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。